

みらい台

柳橋 邦彦議員

21世紀への展望と指針

問 今回の施政方針には、仙台市が二十一世紀に船出していくための大きな戦略が見当たらない。より良い世紀を築くための展望と指針を市民にどのように訴えるのか、また今後の取組について市長に伺いたい。

答 「自立と共生に支えられた協働社会の実現」を施政方針の柱

としたい。そのために、市民としての自覚と主体性を持ち相手の心を思いやる「もてなしの心」を持つ新しい市民性の創造を目指し、行政のあらゆる分野において、情報公開を基本としつつ、市民参加促進のための環境づくりを進めていく。

仙台南まなびの杜²¹教育ビジョンについて

問 このビジョンの策定動機、基本的視点、及び基本概念について伺いたい。また具体的な進め方や取組、意欲についてどのように考えているのか伺いたい。

答 時代の変化を主体的に受けとめ未来を切り開く市民を、くむため、生涯学習の視点から、地域や市民団体、企業、行政等が連携・協働する、パートナーシップ



総合学習の時間

をキーワードとして取り組む。ビジョンの趣旨をPRすること、市民と協働しつつ、年度毎の成果の点検・評価や施策の見直しなど、実効性のある取組を進めたい。

その他の主な質疑項目

・財政の諸問題

・新エネルギー戦略

・環境問題の展望と今後の施策

民フォーラム

村上 隆志議員

市長の「21世紀 仙台丸」のかじ取りについて

問 藤井市長の一期目は全国的に信頼を失った仙台市の負の遺産の整理であり、二期目は藤井カラーを堂々と打ち出すことだと常々思っていた。その意味では評価をする。二十一世紀を市民が希望にあふれ安全に航海することができるよう、「仙台丸」のかじ取りは任せるとの決意を伺う。

答

私は、この一年は新たな百年へ向けて力強い第一歩を踏み出すための極めて重要な一年であると考え、その思いと私自身が心に描く仙台の都市の姿、その実現の道筋等を施政方針の中に書き込めた。毎日が任期と心得、課題に取り組んでおり、この思いに基づき本市のかじ取り役として市政の誤りなき針路を示していきたい。

長町副都心事業の大幅見直しを

問 長町副都心事業は時期的に一部東西線事業と重なるが、資金計画のシミュレーションをしても大丈夫なのか。また、保留地の価格設定等に無理があり、計画の大幅見直しが必要。同時に、音楽堂は多額の建設費、ランニングコストがかかり白紙に戻すべきだ。



長町副都心事業区域

答

長町の事業計画は、地価の下落傾向等を踏まえ、現在、収入・支出双方の検証とそれに基づく見直しの作業を進めている。音楽堂は、この事業での大規模集客施設と位置づけ、都市計画事業の認可を得ている。今直ちに白紙撤回ということは困難だが、今後、施設のあり方について柔軟かつ総合的に判断していきたい。

代表質疑

議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

日本共産党

嵯峨 サダ子議員

長町副都心土地区画整理事業の見直しを

問 長町副都心土地区画整理事業は全体事業費の四七・六％、六百十二億円余を保留地の売却で賄う予定だが、一㎡三十八万円という高値で果たして売れるのか。このままでは膨大な借金を残すことになる。都市計画決定の変更も含む事業計画見直しを強く求める。事業を取り巻く環境が変化



長町副都心土地区画整理事業区域

問 市調査で、介護サービス量は十分が三三、うちこれ以上利用料を払えないため二〇％だった。保険料が二倍に値上げさ

れる十月以前に、介護保険料・利用料の負担軽減措置を求める。法定以外の減免に否定的だった国も認めざるを得なくなった。国に財政措置を求めつつ、自治体としても独自に対策を講ずるべきである。

グローバルネット仙台

野田 譲議員

寝たきりにさせない地域リハビリテーションの支援を

問 地域リハビリテーション支援センターの開設に向けての新年度の取組と事業展開を伺う。また、高齢者をも視野に入れた取組や、区毎の整備が必要ではないか。

答 新年度は、基本計画の策定、高次脳機能障害者のリハビリプログラム作成等必要なノウハウを蓄積していく。事業は、中途障害者のカウンセリング指導、理学療法



ベッド運動 歩行訓練

は分かる授業・楽しい学校づくりに取り組むことが必要と考える。歩行者の安全確保のために歩道の除雪を

問

今年例年になく大雪に対し、市が管理する歩道は除雪が完了せず、放置されたままであった。市民との協働による対策をすべきと考えるが、いかがか。

答

除雪は幹線市道の車道を中心に行った。歩道については、市民に自宅や企業・商店の前等の除雪を呼びかけた。今後、大雪を想定したシステムを構築したい。その他の主な質疑項目

市民団

小山 勇朗議員

市営住宅入居の拡大に向け改善を

問 市営住宅の入居については、定期募集を年三回とするなど見直しはされたものの、常時十一倍以上の競争率であり、生活困窮者がなかなか入居できない状態が続いている。補欠者の入居増及び市営住宅の建設増などを行うべきと考えるが、当局の考えを伺う。



建て替えられた四郎丸市営住宅

め、空き家期間を短縮する方策の可能性を今後検討していきたい。市営住宅の整備については、第八期五カ年計画において、四郎丸東及び袋原団地の高層化及び（仮称）荒井団地の建設を予定している。また、鶴ヶ谷第一団地については、現在建設のための調査中であり、地域住民の意見を取り入れつつ建替計画を進めたい。

問 東西線は平成十六年度着工に向け準備中である。一方本市の借金は全会計の合計が一兆四千億円に達し、大変な財政状況である。東西線は建設費が増加する不安もあり、需要乗客数十三万二千人にも明確な根拠はない。不安だらけの東西線の着工時期については再検討すべきと思うが、いかがか。

答

東西線は、その早期実現に対する市民の強い期待にこたえるべく、本市の最重要事業としてその推進を図ってきた。平成十六年度着工という目標や事業内容も、議会の審議や市民の意見を踏まえて、事業の採算性は十分な検証の上決断しており、目標達成に向けて積極的に取り組んでいく。

自由民主党・市民会議

小池 純夫議員

東西線のまちづくりについて

問 東西線は、西の緑豊かな青葉山から中心市街地を経て、東の新たなまちづくりが求められている地域へとそれぞれの個性を持つ地域を通過する。これらの地域の市民の立場から、まちづくりに対する要望や意見等を寄せてもらおうと、専門的立場から適切な助言や指導を行うまちづくりのための相談窓口のような組織体制づく



リア地下鉄 (東京都営地下鉄)

答 市民と協働して東西線沿線のまちづくりを推進するために、計画段階での様々な相談への対応や市民をはじめまちづくりに関わる様々な方々との連携した取組が必要である。新年度から、都市整備局に、都市景観に係る相談・啓発部門とまちづくりに関する相談・支援・計画立案に係る部門を統

合した、街並みデザイン課を新設し、まちづくりの相談窓口として、幅広くかつ総合的に対応を図る。作並温泉観光客の誘致

問

作並温泉への観光客減少はあまりにもひどい。秋保温泉と比べると本市の力の入れたちも格段の差がある。今後の対策、対応について伺う。

答

作並地区は、全国有数の温泉資源をはじめ、広瀬川、里山など、多様で豊かな地域資源を有していることを認識している。地元の皆様からの観光物産情報センターや広瀬川散策路の整備などのご意見・ご提言も十分に踏まえ、作並温泉の魅力を高めていく取組について、鋭意協議・検討を進めてい

公明党

植田 耕資議員

21世紀の仙台市政

問 21世紀の仙台市を展望するとき、学都・仙台として東北大学を始めとする大学群との連携・連携をもっと拡大すべきではないか。また、杜の都・仙台を復活させるべく未使用の土地に緑を増やすべきである。また、女性の住みやすい仙台市を目指すべきである。東北インテリジェント・コ

スモス構想の推進、高等教育ネットワークの公開講座など、大学等との連携・協力に取り組んでいる。「杜の都」という伝統と地球環境という2つの視点を推進する「百年の杜づくり」において、緑の創出は大きな柱であることから未使用地の利用可能性も検討していく。現在、男性、女性の意識改革に関する調査研究や市民活動支援などの事業を推進する（仮称）せんだい男女共同参画財団の設立準備を進めており、女性も男性も輝くまちづくりを目指したい。

介護保険の減免措置を

問 介護保険制度の導入から一年が過ぎようとしており、平成十三年十月からは経過措置もなくなる。年金額がきわめて低い方などの低所得者の方々にとって介護保



介護保険制度

答

介護を社会全体で支えていくため、被保険者それぞれが応分の負担をするという原則を崩さずに、負担に見合うサービスの質、量の確保や、低所得者への配慮のあり方について、今後、介護保険運営委員会の意見等も参考にし、臨んでいく。

常任委員会

審議等の概要

平成13年2月28日開催

総務財政委員会

市職員の再任用に関する条例の提案理由及び職員定数との関係。再任用の判定基準及びその受け入れと新規採用との関係。市職員定数の減と人員配置の考え方。包括外部監査制度のあり方と監査結果に対する市の対応。

市民教育委員会

エル・パーク仙台条例について。障害児就学指導委員会条例について。学校給食運営審議会条例の改正について。勤労青少年ホーム条例及び上谷刈青少年キャンプ場条例の廃止について。

健康福祉委員会

児童福祉施設条例、休日夜間診療所条例等の三件は可決、空き地における雑草の除去に関する条例改正案は否決すべきと決定。食品衛生法の改正と充実強化を求める請願を採択すべきと決定。一月の委員会、北陵クリニック問題を集中審査。

経済環境委員会

今泉リサイクルプラザを設置する目的及び事業内容について。今後のリサイクルプラザ拡大の考えについて。ごみ減量を推進する上で啓発効果のあるリサイクルプラザの設置場所や事業展開及び今後の市民啓発のあり方について。

都市整備建設委員会

仙台駅東第二開発事務所を市役所本庁舎から現地へ移転することについて。霞の目市営住宅を廃止し、将来の交通の利便性等を考慮し、荒井に建て替えることについて。下水道基本計画の見直しに伴う条例の一部改正について。

公営企業委員会

平成十三年春のダイヤ改正について（輸送需要に応じた路線の延長や運行経路の変更及び回送便を活用した新たな路線開設）。都市ガスにおける原料費調整制度により平成十三年四月から六月検計分に適用する従量料金単価の決定について。